

開講年度	令和 8 年度	開講課程	博士前期課程
授業名	社会医学特別演習		
開講キャンパス	紀三井寺	教室	各研究室
科目区分	特別科目	配当年次	1～2年次
必修・選択の別	選択	単位	2単位
対象学生	—	使用言語	日本語
キーワード	(法医学) 異状死、突然死、自殺 (環境保健予防医学) 生活習慣病、予防 (公衆衛生学) 予防医学、先制医療、個別化予防 (医療統計学) 医療統計学 (医療データサイエンス学) データサイエンス (医療情報学) 電子カルテ、クリニカル・データベース、医工学		
担当教員 (下線：科目責任者)	医	(法医学) 教授 近藤稔和、准教授 石田裕子、講師 野坂みずほ、講師 石上安希子 (環境保健予防医学) 教授 藤吉 朗、准教授 東山 綾、助教 竹村重輝、助教 鈴木春満 (公衆衛生学) 教授 上田 豊 (医療統計学) 教授 下川敏雄、講師 万 可 (医療データサイエンス学) 教授 下川敏雄 (医療情報学) 教授 西川彰則	
	薬		
授業の概要	法医学、環境保健予防医学、公衆衛生学、医療統計学、医療データサイエンス学、医療情報学の各分野において講義及び演習を行う。本演習では、各分野における主要テーマについて文献を読み、専門的知識を修得するとともに、分析疫学的手法などの社会医学における研究手法について理解を深める。またディスカッションを行うことにより、自ら考察する能力や課題発見力を養うとともに、研究結果の解釈法や発表方法について学ぶ。		
到達目標	(法医学) 突然死や自殺の異状死に関する動向を理解する。 (環境保健予防医学) ①生活習慣病の予防に関する特定のトピックを指導教員のもとで選択し、それに関する知見を収集し発表する。②統計の基本概念を理解する。③「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の重要点を理解する。 (公衆衛生学) 予防医学、特に先制医療としての個別化予防医学に重点をおき、実際のデータを用いて統計ソフトを使用して解析することができる。 (医療統計学) 医療統計学・データマネジメントに関する知識を身につけ、医療データサイエンスの実践に活かすことができる。 (医療データサイエンス学) 医療統計学・データマネジメントに関する知識を身につけ、医療データサイエンスの実践に活かすことができる。 (医療情報学) 電子カルテの診療情報や新規医療デバイスを活用した生体情報から、研究利用可能なデータベース作成やシステムの構築ができる。		

<p>授業計画</p>	<p>(法医学) 突然死や自殺の異状死に関する最新の文献を読み発表し議論する。(近藤稔和/石田裕子/野坂みずほ/石上安希子)</p> <p>(環境保健予防医学) ①生活習慣病の予防に関する特定のトピックを指導教員のもとで選択し、それに関する知見を発表する。②統計ソフトの基本操作を紹介する。③「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を学ぶ。(藤吉 朗/東山 綾/竹村重輝/鈴木春満)</p> <p>(公衆衛生学) 個別化予防実践のためのデータ解析 予防医学、特に先制医療としての個別化予防医学に重点をおき、実際のデータを用いて統計ソフトを使用して解析する。(上田 豊)</p> <p>(医療統計学) 英文書籍及び論文等の抄読を通じて統計手法あるいはデータサイエンス手法理解を深めるとともに、英文での論文作成のための素養を身につける。抄読については、パワーポイント等を用いた発表形式で行うこととする。(下川敏雄/万 可)</p> <p>(医療データサイエンス学) リアルワールド・データ及び公的マイクロデータの利活用に関する書籍・論文等を抄読する。抄読については、パワーポイント等を用いた発表形式とする。また、python言語を用いたデータハンドリングのためのプログラミング技法について身につける。(下川敏雄)</p> <p>(医療情報学) 医療情報に関する概説的な講義を行うとともに診療情報の収集システムの利活用などを学ぶ。(西川彰則)</p>
<p>授業の方法・形態</p>	<p>演習を中心とする。</p>
<p>使用するメディア</p>	<p>パワーポイント等によるスライド資料を使用する。</p>
<p>成績評価の基準</p>	<p>研究への取組100% (討議内容、ディスカッションへの参加姿勢、研究技能の修得状況、発表内容など) によりS (90点以上)、A (80~89点)、B (70~79点)、C (60~69点)、D (59点以下) の5段階で評価し、C以上を合格とする。</p>
<p>授業時間外の学修に関する指示</p>	<p>教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。</p>
<p>オフィスアワー (学生からの質問事項等への対応)</p>	<p>担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。</p>

<p>教科書・参考書</p>	<p>(法医学) 【教科書】 特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。 【参考書】 特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。</p> <p>(環境保健予防医学) 別途指示する。</p> <p>(公衆衛生学) 【教科書】 特に指定しない。 【参考書】 「該当年度の最新の実験医学」(羊土社)等 例「実験医学増刊33.7, 2015 先制医療実現のための医学研究」</p> <p>(医療統計学) (医療データサイエンス学) 【教科書】 特に指定しないが、担当者が作成した資料を配布する。 【参考書】 「統計的機械学習の基礎」 著者：井出 剛他(翻訳) 出版社：共立出版 「An Introduction to Statistical Learning: with Applications in R」 著者：Gareth James 他 出版社：Springer 「A Handbook of Statistical Analyses using R (3rd Edition)」 著者：Thrsten Horthn, Brian S. Everitt 出版社：Chapman and Hall/CRC</p> <p>(医療情報学) 【教科書】 「医療情報学 医療情報システム編 第5版」 著者：日本医療情報学会医療情報技師育成部会(編) 出版社：篠原出版新社 【参考書】 特に指定しない。</p>
----------------	---